

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9 巻 動物臨床看護学総論/動物臨床看護学各論』（改訂第 2 版第 1 刷）
訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press

2023 年 10 月 30 日

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p. 4	動物臨床看護学総論 第 1 章	表 1-1-1 「医療福祉等関係職種資格の法制化」の最下行「2017 年」の国家資格名	公認心理士	公認心理師
p. 16	第 1 章	左段上中見出し	ヒト医療における「チーム医療」の発展	ヒト医療において発展した QOL の考え方
p. 198	動物臨床看護学総論 第 1 章演習問題	問 4 選択肢③	虚脱や失神を伴う呼吸困難は徐脈性不整脈だけが原因となっていることが多い。	虚脱や失神を伴う呼吸困難は徐脈性あるいは頻脈性不整脈が原因となっていることが多い。
p. 202	動物臨床看護学総論 第 1 章演習問題解説	問 4 解説正答	虚脱や失神を伴う呼吸困難は徐脈性不整脈だけが原因となっていることが多い。	虚脱や失神を伴う呼吸困難は徐脈性あるいは頻脈性不整脈が原因となっていることが多い。
p. 218	動物臨床看護学各論各論 第 1 章	中見出し 「短頭種気道症候群」 1 行目	短頭種気道症候群とは、短頭種の犬にみられる上部気道の解剖学的あるいは機能的異常に伴い、さまざまな上部気道障害を引き起こす症候群であり、犬のみ発生する。	短頭種気道症候群とは、短頭種の犬および猫にみられる上部気道の解剖学的あるいは機能的異常に伴い、さまざまな上部気道障害を引き起こす症候群である。

p. 218	動物臨床看護学各論各論 第1章	小見出し 「症状・病態生理」 3行目	(短頭種気道症候群)の犬ではこれらの～	(短頭種気道症候群)の犬 および猫 ではこれらの～
p. 218	動物臨床看護学各論各論 第1章	小見出し 「検査」 1行目	短頭種の犬に特徴的な～	短頭種の犬 あるいは猫 に特徴的な～
p. 391	動物臨床看護学各論 第2章7	「眼の観察」 左上から4行目	莢膜	強膜
p. 396	動物臨床看護学各論 第2章7	「白内障」 左下から6行目	過熱期	過 熟 期
p. 449	動物臨床看護学各論 第2章9	表2-10-2「タンパク尿に基づくサブステージ」表の最左上から4行目	タンパク尿のボーダーライン	タンパク尿
p. 449	動物臨床看護学各論 第2章9	表2-10-2「タンパク尿に基づくサブステージ」最右上から4行目(猫UP/C値)	>0.5	>0.4
p. 509	動物臨床看護学各論 第2章11	「心肺蘇生法ガイドライン」 左下から5行目	(図2-12-6)	削除
p. 513	第2章11 救急疾患	右段下から8行目	原因として、インスリンの過剰摂取、インスリン産生性腫瘍、腎性の糖尿によるブドウ糖の消費の増加、グリコーゲン貯蔵不足、飢餓などがある。	削除

p. 520	動物臨床看護学各論 第2章 11	「ショック」の 図番号と該当 文章 左段上から 5 行目	図2-12-7 ショック の病態 (図 2-12-7)	図 2-12-6 ショック の病態 (図2-12-6)
--------	---------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------